

魚、エビ「おいしそう」

まんのうで剥製アート展



超絶技巧が施された剥製を楽しむ来場者
＝まんのう町中通、ことなみ未来館

剥製アートの作品展「剥
製師 力石真弘の世界」が、
未来館にある「みんなであつ

くる自然史博物館・香川」
で開かれている。食べたくな
るほど新鮮に見える精巧
な魚類や甲殻類に、来場者
たちは感嘆の声を上げてい
る。毎週土曜日に公開。

水生生物の剥製師、力石
真弘さん（広島県）の個展
は県内で初めて。水生生物
は死後に変色してしまう
が、力石さんの作品では、
殻や魚皮などを生かしなが
ら、本物さながらに着色を
施すなどし、再び命を吹き
込む。尾道市美術展でデザ
イン部門の市長賞（最高賞）
を受賞するなど、高く評価
されている。

会場には、貝類に寄生す
る体長1センチほどのカニ「ピ

シノ」やミナミコメツキガ
ニから、50センチを超えるマダ
イやツバスまで、大小70点
を出品。訪れた人たちは、
今にも動き出しそうなイセ
エビや、跳ね回る様子を再
現したシャコなどに、「生
きているみたい」「おいし
そう」と驚いている。

甲殻類には足の毛も生え
ており、フィギュアでは再
現できない剥製ならではの
部分。来場者は、毛やヒゲ
の先まで形を崩さず残し、
細かく着色した超絶技巧に
目を奪われている。

展示は1日に始まり、12
月27日まで毎週土曜日に公
開。無料。同6日午前10時
からと午後1時から、力石
さんによるミュージアムト
ークを開く。